「科学･技術ミーティング in 高松」　平成22年8月29日

- 最先端研究課題に対する個別支援は重要
- 一見無駄に思える可能性を秘めた基礎研究への支援･育成は不可欠

- 社会における地方国立大学法人の役割
- 地方国立大学法人への極端な予算削減は愚策
- 地方大学で特徴的な研究を進めるための支援政策

香川大学農学部　秋光 和也

● 最先端研究課題に対する個別支援は重要

ライフイノベーション・グリーンイノベーション等の特定課題への支援や若手・女性研究者支援歓迎

競争原理導入は歓迎・今後も極端な偏りは無いよう配慮

● 一見無駄に思える可能性を秘めた基礎研究への支援･育成も不可欠

我が国は資源は無く、知恵と勤勉努力で国力を発展維持

一見無駄でも未知の解明と新技術開発への投資は重要

いつ何が最先端研究に繋がるかは不確定要素大

● 社会における地方国立大学法人の役割

研究トレーニングで培った実直で粘り強い人材養成

手間と時間をかけた教育システムの実践

ユニークで輝きと可能性・地域性を持つ研究の推進

● 香川大学

世界中で唯一希少糖の生産技術を確立

オンデマンド対応可能なナノデバイスセンター

地域性・地の利を生かした瀬戸内研究

● 地方国立大学法人への極端な予算削減は愚策

各大学に特徴的な研究への育成推進に支障

科研費・競争資金がなければ研究費は実質ゼロ

大学機能・プライドの喪失は社会利益をもたらさない

● 地方大学で特徴的な研究を進めるための支援政策

地域性際立つ各大学特有の研究推進への**地域枠予算の導入**

研究活性化に向けた**競争的若手研究費枠の強化**

国際化へ旗振り・若手派遣と**優秀なアジア人材の受け入れ**

博士号取得者の国・地方自治体での採用